

○変革の予感 (p 44)

打ちこわし …もともとは生活に困り追いつめられた都市の貧民が、米屋や金持ちの家に押し入り、金品を強奪する行為。今でいう押し入り強盗のようなもので、もちろん犯罪行為である。

↓

開国直後、物価が上がって人々の生活が逼迫され、さらに全国規模でコレラが流行 → 打ちこわしが激しくなる → やがて打ちこわしが「世直し (!)」とよばれるようになる。これは幕府への不信が高まり、民衆がこれまでの苦しい生活への救いを、新しい時代の到来にかけたものといえる。

↓

1867年から「ええじゃないか」(東海地方から中国・四国地方にかけてみられた民衆の乱舞。一種の集団発狂?) がひんぱんにみられるようになる。

cf 黒住教・天理教・金光教 …苦しい生活や病氣から民衆を救うことをめざす。この頃急速に発展。

※ええじゃないか

江戸時代中期から、「一生に一度は伊勢参りに行く」という考えが人々の間に広まっていた。お金のない人でも、行く先々で食料やお金をめぐんでもらいながらお伊勢参りを達成するというのが、一般的になっていた。ええじゃないかは、これがエスカレートしたものと考えられる。1867年は大政奉還=幕府滅亡の年。幕府という重しがはずれた人々は「もらってもええじゃないか」「取ってもええじゃないか」といいたがら集団で金持ちの家に押し入り乱舞した。

問1 なぜ、犯罪行為である打ちこわしが、「世直し」といわれるようになったのだろうか。

問2 この時期、新しい宗教が発展したのはなぜだろうか。

問3 (1) 「ええじゃないか」とはどのようなものだろうか。

(2) 「ええじゃないか」がひんぱんに行われた背景には、人々のどのような願いがあったのだろうか。

○欧米諸国との交流 (p 44)

1860. 幕府は条約文書交換のため、アメリカに使節を派遣。

cf 咸臨丸 …軍艦、乗組員ともオール日本 (リーダー勝海舟。福沢諭吉も同行) で初めて太平洋を横断。

1863. 長州藩はイギリスに、() (のちの初代内閣総理大臣) や井上馨を留学生として派遣。

1865. 薩摩藩も同様に寺島宗則や森有礼らをイギリスに派遣。

1866. 幕府が公式に海外渡航を認める → 民間からも海外に渡るものが出る。

※1869年に鎖国して以来、海外に行くのは厳禁。外国の情報もトランプシークレットだった。

しかし、長州藩や薩摩藩は1800年代には、ひそかに人員を派遣して海外の情報を直接ゲットしていた!

問 日本人の海外派遣は、日本にどのような変化をもたらしたのだろうか。

○開港場の文化 (p 45)

日米修好通商条約で開港されたのは、箱館・新潟・神奈川 (実際は横浜)・兵庫 (実際は神戸)・長崎の5港。

それぞれに港には外国人居留地が設けられる。この中で貿易の中心となったのが ()。ここには日本で初めて鉄道が開通し、新聞が発行されるなど日本の文化・ジャーナリズム発展の場所ともなった。

○大政奉還 (p 46)

1966年孝明天皇急死 → 薩長同盟は () (天皇側近) の協力で明治天皇 (15歳) をたてる。
→ 倒幕 (幕府を倒すこと) の準備

この倒幕の動きを阻止するため () は前土佐藩主 () を動かし、朝廷に政権を返すよう、江戸幕府の15代将軍徳川慶喜を説得

↓

1867年10月14日 大政奉還 by () =江戸幕府滅亡。
同日、薩長同盟は討幕の密勅 (幕府を倒してよという極秘の天皇の許可) を得るが時すでに遅し。

問1 「大政奉還」とはどのような意味だろうか。

問2 薩長同盟が、幕府を倒そうとするのはなぜだろうか。

○王政復古と戊辰戦争 (p 46)

(大政奉還後の薩長同盟の動き)

1867年11月 () 暗殺
12月 9日 ()

天皇中心の政治が復活したことを宣言! →改革の中心は旧幕府ではなく、天皇を背景とした薩長同盟
→ 小御所会議で徳川慶喜の官職と () の取り上げを決定

しかし旧幕府勢力はそのまま存在→ 明治政府は旧幕府勢力を何度も挑発。

1868年1月の () の戦いをきっかけにして、旧幕府勢力が蜂起、戦いは全国的に

1868年4月 () 城 無血開城 →5月 上野戦争 (彰義隊壊滅)

9月 () 戦争… () 同盟降伏、白虎隊自刃

1869年5月 () の戦い…旧幕府軍を率いる () 降伏、新撰組土方歳三戦死

↓

旧幕府勢力の抵抗終わり。

これら一連の戦いをまとめて () という。

※このように江戸時代の体制を解体し、近代国家を確立していく劇的な社会改革を () とよぶ。

幕府との戦いの中で、長年重い負担に苦しんできた農民を味方につけるため、明治政府は、戦いに勝ったら年貢を半分にすると約束した。しかし約束は守られることはなく、年貢半減を幕府に迫った農民たちは次々に弾圧されていった。

問1 王政復古の号令における「王政復古」とはどのような意味だろうか。

問2 薩長同盟は、なぜ天皇を前面に出そうとしたのだろうか、薩長同盟の中心となっていたのは下級武士であったこともヒントにして考えてみよう。

○明治維新 (p 48)

() … 明治政府の政治の基本方針 (5か条。天皇が神々に誓うというかたち) :

「公議世論の尊重」(話し合いやみんなの意見を尊重) :

諸大名に向けて。あなた方の意見も取り入れていきますから明治政府に反抗しないでね、というメッセージ。

諸外国に向けて。日本もヨーロッパ諸国と同じように、進んだ考えを持っていますよ、という姿勢をアピール。

開国和親 (外国と積極的に交易・交流) :

諸外国に向けて。今までの攘夷 (外国を追い払う) をやめて、仲良くしていきますよ、というメッセージ。

() … 民衆への戒め。5枚の立て札で掲示。内容は江戸時代と変わらず。

ex 儒教・道徳のすすめ。キリシタンの禁止 etc.

() … 新政府の政治組織＝太政官制 :

一応アメリカにならった三権分立。実際には太政官にすべての権力が集中。

「太政官」とは奈良時代 (約1300年前) の大宝律令に定められていた役職名。

江戸を () と改め、首都と定める (天皇も京都から東京に移る) →元号を () とする

※ () の制 … 天皇が即位している期間は1つの年号で通す。

問 五箇条の誓文における「公議世論の尊重」と「開国和親」は、これまで200年以上やってきた江戸幕府の政策と正反対であるといえる。どこが逆なのだろうか、それぞれ考えてみよう。

「公議世論の尊重」と逆の体制 :

「開国和親」と逆の政策 :

☆中央集権化政策

1869. 版籍奉還開始 … 大名が、版 (土地) と籍 (人民) を治める権限を天皇にお返し (奉還) する。

→ “土地は天皇のもの” になったが、天皇に「知藩事」に任命され、従来と変わらず
大名が土地を治める。

※全国の土地が天皇のものとなる →やがて明治政府が天皇の名の下に全国を統治できる。

1871. 廃藩置県 … 藩を廃して県をおく。大名はクビ! 200年以上続いた一種の独立国である藩が廃止され、

新たにおかれた県には、県令が明治政府により派遣される。

最初3府302県 →1使3府72県 (同年) →1道3府43県 (1888)

問 1 1888年に1道3府43県と、ほぼ現在のかたちになった。3府とはどこをさすか、3つあげなさい。

問 2 「中央集権」とは、首都東京にある政府の指令が、全国の隅々にまで行きわたり、統治されるかたちである。なぜ、このようなかたちにする必要だったのだろうか。

問 3 最初から廃藩置県をすればいいのに、なぜ版籍奉還→廃藩置県という段階をふんだのだろうか。